別紙１１の１　令和３年度　学校安全計画　全体計画

東京都立 成瀬高等学校　　全日制課程　普通科

安全教育に関する法令等

○学習指導要領総則「安全に関する指導」
○学校保健安全法(第27条)
○「2020年の東京」へのアクションプログラム2013
目標1施策2、目標6施策18、目標7施策19
○東京都教育ビジョン（第4次）基本的な方針6　施策展開の方向性⑰

学校の教育目標

○高い知性と創造力を培う。
○広い視野を持ち、品格のある豊かな人間性を養う。
○若さにあふれる健康な身体をつくる。

学校の現状等

○町田市の南部に位置し、生徒の大半は多摩南部域に居住している。
○生徒の通学手段は、自転車70％と多く、ついで電車・バスなどの公共交通機関を利用している。
○住宅街と恩田川にはさまれ、閑静な環境にある。

安全教育の目標

安全教育を推進していくことで、他を思いやり、社会において貢献できる精神を育成し、自他の生命を尊重する規範意識を高揚するための資質・能力を育む。

目指す生徒像

○将来にわたる安全に関する課題を理解し、自ら的確に判断し行動ができる生徒
○地域貢献とともに、自他を守る意識を身に付ける生徒

育てようとする資質や能力及び態度

○安全に関する理解を深め、適切な意思決定を行い、主体的に行動し、危険を予見し回避する能力
○高校生として地域を率先して支えていく態度。

安全教育の目標を実現するための基本方針

○各教科、総合的な探究の時間、ホームルーム活動、学校行事、生徒会活動、部活動等の全ての教育活動を通じて、安全課題を設定するとともに、生徒が課題を把握し、その解決を自ら行うことのできる活動を推進していく。
○1学年は、ホームルーム活動やセーフティ教室、2学年・3学年においては、ホームルームや総合的な探究の時間を活用した安全学習を設定し、危険を察知し回避する力を伸長させる。

安全学習及び安全指導の指導方針等

生活安全

○家庭や地域社会で発生する犯罪や事故に関する知識を持ち、危険を回避する行動が取れる能力を育成する。
○校舎内外において、不審者に対する適切な処理を組織的に対応していく計画を設定する。
・ホームルームでの安全教育
・セーフティ教室
・休日や長期休業期間における安全管理

交通安全

○交通安全教室により様々な法規や交通マナーを身につけ、自転車の安全利用を推進していく。また、公共交通機関利用時のマナーについても指導を徹底する。
・交通安全教室
・交通安全に関するビデオの活用
・全校集会における指導
・安全マップの作成
○災害発生時における帰宅経路の確認

災害安全

○「東京防災」、防災ノート「災害と安全」、「マイタイムライン」を活用した指導を行い、地震や火災などの災害時に適切な行動を取れるようにする。
○災害発生時における避難所の役割を理解し、地域における防災拠点においてボランティア活動などに主体的に参加できるようにする。
・防災マップの作成

各学年の指導方針

【1学年】安全に関する知識を理解し、防災訓練などを通じて、安全に関する知識を育成する。
【2学年】安全に関する知識を、教科・総合的な探究の時間や特別活動などにおいて高めていく。
【3学年】安全に関する知識を総合的に高め、常に主体的に行動が取れるようにする。

関係する教科等

【関連教科（地歴公民、理科、保健体育、家庭科、探究）】安全教育に関する内容を精選し指導をしていく。
【ホームルーム活動】安全に関する知識をより高めていくための指導を日常から行う。
【部活動・生徒会活動】生徒会の活動の柱の一つに、安全教育を据え、啓発行動を活性化させる。

安全管理との関連

生活や行動等の安全管理（対人管理）

○教員による朝の立ち番、声掛け運動の実施及び危険場所の注意喚起。。
○屋上などの危険区域への立入などルールを徹底し、規範意識の高揚を図る。
○授業やホームルームにおいて生徒の変化などに関する情報を教職員で共有していく。

学校環境（対物管理）

○専門業者による施設・設備の点検
○教職員による学校施設や機器の点検
○理科室の薬品点検（各学期1回）
○校内の樹木の剪定作業

事件・事故や災害発生時の危機管理

○危機管理マニュアルを活用し、生徒の安全確保を第一に、学校全体が組織的に活動できるように日常からの備えを徹底していく。
○災害発生時における情報発信と帰宅方法や経路の確認。
○消防や警察などと連携し、情報共有を図る。

教職員の校内研修

○4月　成瀬高校の安全計画と防災訓練について(安全教育プログラム使用)
自転車指導の打ち合わせ
○9月　8月に受講する指導者講習を基にした安全講習、町田市の指定避難所および一時避難所について
○随時：救命講習
　　エピペン使用方法
　　熱中症の応急手当講習

推進組織及び評価

○学校安全委員会(防犯・防災)、生活指導部(交通・生活)、教務(活動)、広報(情報発信)、経営企画室(施設管理)
○評価は、学校評価を通じて実施し、集計する。

家庭・地域・関係機関との連携

○PTA、小学校および地域と連携した啓発活動
○町田市や消防署と連携した防災活動の活性化